

令和7年度グループ研究テーマ

『「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業の実践及び研究』
～ 主体性を引き出すための工夫とその評価 ～

<グループテーマ設定の理由>

前年度までの研究で、グループの目指す児童・生徒の主体性として、『**自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。**』と明らかにすることができた。そこで今年度は、「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるために、**①該当児童・生徒の主体性（具体的にその児童・生徒の主体性を示す様子→評価につながる）。****②①を引き出すために授業で工夫した点。**の2点を指導案に記載して授業を実践し研究することにした。

<「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業① 松尾さ>

特別活動「仲間と協力しよう」～中学部2年生～

①単元の目標 及び 単元の評価基準

目標 ①自分のやりたいものを3つの中から選択できる。

②仲間と協力する。

評価基準「目指す児童・生徒の主体性」※グループ共通

・自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。

②児童・生徒の主体性を引き出すための工夫

生徒	段階	主体性を示す様子	主体性を引き出す工夫
A	1	ボールを選び、ゴールまで行く。	・活動内容を事前に説明する。 ・できるだけ自ら行えるように最低限の支援をする。
B	2	自らボールを選び、走ってゴールに入れる。	・問いかける。 ・応援する。

③グループ協議を経て、分かったこと。

- ・繰り返し行うことの重要性。
- ・選択できる場面をたくさん設定したことで、生徒の主体性が見えた。



<「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業② 松尾ゆ>

国語・算数「くだものがりょうしよ」～小学部2年生～

①単元の目標 及び 単元の評価基準

目標

- ・カードを渡す又はカゴに入れることができる。（知・技）
- ・複数の選択肢の中から同じもの同士を見つけてマッチングすることができる。（思・判・表）
- ・やることが分かり、自ら行動することができる。（主体的に学習に取り組む態度）

評価基準「目指す児童・生徒の主体性」※グループ共通

・自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。

②児童・生徒の主体性を引き出すための工夫

児童	段階	主体性を示す様子	主体性を引き出す工夫
A	1	やること（カードを取って教師に渡す又はカゴに入れる）が分かり、活動に取り組むことができる。	・直前にやることを確認してから、課題を提示する。 ・促したい行動を言語化する。 ・次に注目してほしい箇所を指差しで示す。
B	2	複数のイラストを見比べて、同じイラスト同士をマッチングすることができる。	・「“同じ”はどれ？」と問いかけて、何をしたらよいのかを明確に示す。 ・見分けのつけやすいイラストを提示する。
C	3	やること（カードを取って教師に渡す又はカゴに入れる）が分かり、活動に取り組むことができる。	・直前にやることを確認してから、課題を提示する。 ・促したい行動を言語化する。 ・必要に応じて、動作支援を行う。

③グループ協議を経て、分かったこと。

「できるけど、やらない（やりたくない）」状況であっても、子どもがやりたい（やってもいいかな）と思えるタイミングまで待ったり、タイミングを見計らって動きかけたりすることで、活動に参加する（主体性を引き出す）ことにつながる。



<「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業③ 長沼ま>

遊びの指導「先生と遊ぼう」～小学部2年生～

①単元の目標 及び 単元の評価基準

目標 ①教師からの働きかけを受け入れ、一緒に遊びを楽しむ。

②活動内容を理解して、自分のやりたい遊びを選ぶ。

評価基準「目指す児童・生徒の主体性」※グループ共通

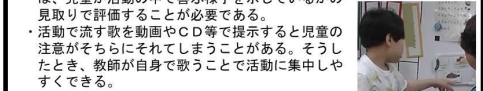
・自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。

②児童・生徒の主体性を引き出すための工夫

児童	段階	主体性を示す様子	主体性を引き出す工夫
A	1	教師からの働きかけを受け入れて、絵カードに手を伸ばす。	視線の合いやすい位置に絵カードを提示する。
B	2	教師からの働きかけが分かり、自分が安心な方法で手を繋ぎ、活動を楽しむ。	笑顔でアイコンタクトをしっかりと取る。本児の望むやりかたに応じる。
C	3	学習の流れを理解して、自分なりの方法で遊びたいものを伝え、教師からの働きかけを楽しむ。	本児なりの方法で伝えられたことを明るい表情と声掛けで受け止める。

③グループ協議を経て、分かったこと。

- ・指導の開始時期には1つ1つの活動を十分にに行い、その後2つを選択→3つを選択というように段階を踏んだことはよかった。
- ・児童がカードを選択したように見えても、本当に理解して選んだのかは、児童が活動の中で喜ぶ様子をしているかで見取りで評価することが必要である。
- ・活動で流す歌を動画やCD等で提示すると児童の注意がそちらにそれてしまうことがある。そうしたとき、教師が自身で歌うことで活動に集中しやすくなる。



<「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業④ 足立>

図画工作科「けいとぐるぐる」～小学部4年生～

①単元の目標 及び 単元の評価基準

目標

- ・毛糸を台紙に巻き付ける動きの中で、手指や手首を使って制作に取り組む。（知・技）
- ・毛糸を巻き付ける位置を工夫し、自分なりに表現しようとする。（思・判・表）
- ・毛糸の感触や、模様ができる過程を楽しみながら、進んで制作しようとする。（生）

評価基準「目指す児童・生徒の主体性」※グループ共通

・自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。

②児童・生徒の主体性を引き出すための工夫（6名中2名抽出）

児童	段階	主体性を示す様子	主体性を引き出す工夫
D	3	毛糸の色や巻き方を工夫し、自分なりに表現しようとする。	作りたいもののイメージを伝えることができるように、作品の見本を複数提示する。
F	3	道具や材料を見て、自分なりに制作を進めようとする。	制作に見通しをもつことができるように、教師の手元の動きを画面に映し、動作を視覚的に分かりやすく示す。

③グループ協議を経て、分かったこと。

- ・毛糸に触ることが苦手な児童を想定して、別素材も用意するとよい。
- ・「あしまい」「片づけ」などとはっきり伝えるよりも、自分で片づけたくなるような言い換えや関わりが、時には有効である。
- ・自分でできることを重要視し、個々への支援は最小限に抑える。
- ・「失敗した」と感じさせないような、教材や言葉の掛け方の工夫が大切。



3年間の研究の経緯と成果

1年目 児童・生徒が「やってみたい！やろう！」と思える授業作り	
【成果】 主体的に学習に取り組むための方法や意義について確認できた。	【課題】 それぞれの教師が考える児童・生徒の主体性が異なっていた。
2年目 「目指す児童・生徒の主体性」を明らかにする	
【成果】 グループとして、目指す児童・生徒の主体性『 自ら意思表示（選択）をしたり、行動したり（しない）することができる。 』が確認できた。	【課題】 目指す児童・生徒の主体性を共通理解できたが、真にそうであるかの検証が不十分である。
3年目 「目指す児童・生徒の主体性」を実現させるための授業の実践及び研究 ～主体性を引き出すための工夫とその評価～	
【成果】 児童・生徒個人が示す主体性やそれを引き出すための工夫はそれぞれ異なるが、実態や段階に関係なく共通する主体性をグループで確認できていたので、教師同士同じ視点で研究を深めることができた。	